

湯の平溪谷 (新発田市)

■環 境：山地 渓谷
 ■対 象：健脚
 ■期 間：6月中旬～
 7月下旬

飯豊連峰を源流とする加治川の上流にあり、ミソサザイやヤマセミに会える。秘湯、湯の平温泉で鳥たちの世界を垣間みたいご味。

〈加治川の秘境・湯の平温泉〉

湯の平溪谷は飯豊連峰を源にする加治川の上流にある。加治川は加治川ダム、加治川治水ダムを通り、飯豊川とも呼ばれ新発田市内を流れ聖籠町から日本海に注いでいる。

溪谷の奥にある湯の平温泉は秘湯中の秘湯として口コミで伝わり日曜や夏のシーズンは大盛況を続けているが、そのアプローチはかなり厳しい。

〈ブナ林にアカショウビンの声が響く〉

新発田市から内ノ倉ダム、赤谷を経て加治川治水ダムへと向かう。探鳥するなら新発田から車で1時間半の四郎左エ門沢からいくつかあるブナ林がポイントになる。

林道終点の掛留沢駐車場までの数カ所、駐車スペースのあるところで車を降りると、アカショウビンの声が近づいてきたり、オオアカゲラが忙しげに林内を飛び回る。また音もなくブッポウソウが対岸の林に飛び去ったり、オオルリの声がリレーされ溪谷に響く。

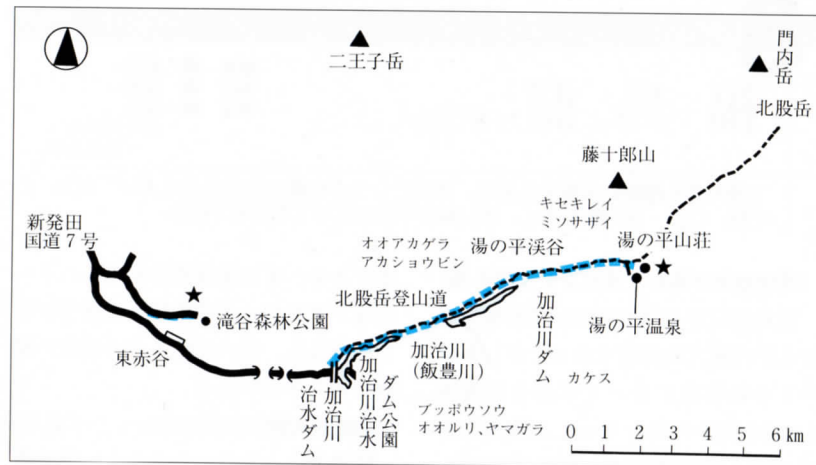
両側の山はほとんど絶壁ばかりの狭く深い溪谷で、谷底に日が当たるのは

午前8時近くになってからになる。それからが小鳥たちのさえずりの本番である。

探鳥コースの道中、案内板のある登山口は俎倉山857m、焼峰山1086m、終点の飯豊山2105mの登山口だけで不案内な面がある。なお加治川ダムの道は5月中は残雪があって通行止めのことが多い。加治川ダムから北股岳への登



紅葉の湯の平溪谷



山道は湯の平温泉まで3.4km、約1時間ほどであるが、幾つもの沢や断がい絶壁を越え、北股川のつり橋を渡らなければならない。

湯の平山荘の周囲はコバルト色に澄む清流。河原に湯槽ができて、透明な湯に身を沈めれば、対岸からミソサザイのカンツォーネが響く。男湯は崩壊で埋没し、現在は女湯に時差で男女交代で入浴することになっている。

探鳥が終わったら、下流の加治川ダム公園か、滝谷森林公園で朝食をとりながらの鳥合わせもよい。両公園ともにアカショウビンが現れるところでもある。

下流の探鳥地としては加治川第2発電所への水路に沿って歩く探鳥コースがよい。春の渡りのシーズンには小鳥たちでにぎわう。市街地付近では五十

公野公園がお勧め。渡りの時期を中心に123種の鳥が観察されている。升湯から加治川に近い鞍部かアヤマ園も探鳥ポイントである。

(石井哲夫)

メモ

交通 車かレンタカーが便利。国道7号線から加治川に沿って進み上赤谷で左折し、加治川ダムへ向かう。

☐ 加治川ダム、滝谷森林公園。

探鳥会 五十公野公園探鳥会は毎月行っている。問い合わせ：「サンワークしばた」新発田市五十公野4475の3の藤田まで。☎0254-22-8741

その他森林公園☎0254-28-2713

観光案内所☎0254-27-6321